

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	こども病院	<p>お忙しい中ご指導いただきありがとうございました。</p> <p>薬局実習先では高齢な患者さんが多かったため、小児の処方などに対して不安があったのですが、理解できるまで丁寧に教えて下さり、小児特有の疾患や薬剤について深く学ぶことができました。</p> <p>スプレーを使っての吸入指導や、粉薬や苦い味の薬などを服薬できるか確認することなどを通して、小児だからこそさらに工夫や説明するべきことがあることを実感しました。</p> <p>服薬指導相手が患者さん本人ではなく、親御さんへの方が多く、どのように服薬指導をするべきかを考える時間が増えました。なぜそのように服薬する必要があるのかまで説明できるように、自分がまずしっかり理解することをさらに心掛けるようになりました。</p> <p>実習を通して学んだことや経験を活かし、先生方のような薬剤師になれるよう日々精進してまいります。11週間、本当にありがとうございました。</p>
R6	加古川医療センター	<p>病院実習では迅速で正確な調剤を行うこと、症状や状態に対して臨機応変な処方の対応をすることの大切さを学びました。病院では患者さんのカルテを逐一確認できるので少し疑問に感じた処方があるとカルテを確認して解決出来ることも多くありました。薬局では経験できなかった抗がん剤の調製も学ぶことが出来ました。病棟業務で対応する患者さんは入院しているので薬局と違い時間に追われることがほとんどありませんでした。そのため薬の作用や副作用についての説明に十分な時間をとることが出来ました。患者さんが不安に感じている気持ちが伝わるのでとても緊張しましたが出来るだけ聞き取りやすいように心がけて対人業務も行いました。OSCEで学んだことも実践出来ましたが、対人業務で開いた質問をして患者さんから話していただく環境にすることが難しかったです。11週間という短い期間でしたが温かくご指導いただきありがとうございました。</p>
R6	加古川医療センター	<p>病院実習では、調剤以外にも病棟での薬剤管理指導などを通して、座学では学べない多くの体験をさせて頂き、貴重な時間を過ごすことが出来ました。</p> <p>調剤では、処方内容の確認を通して、カルテを見て患者の病態や処方理由の確認であったり、用法用量を確認することの大切さを学ぶことが出来ました。</p> <p>薬剤管理指導では、病室での患者対応の他にカルテにて患者情報を把握することや、患者の治療方法等について詳しく調べることでたくさんの知識を付けることが出来ました。</p> <p>この実習で学ばせて頂いたことを将来に生かせるように、これからも勉学に励んでいきたいと思っております。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	加古川医療センター	<p>実習では、薬剤部のいろいろな業務を経験させていただきました。その中でも、糖尿病教室の参加は特に印象に残っています。医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、臨床検査技師がそれぞれの職能を活かしながら、患者さんのQOLの向上を目指していることから、多職種連携をととても実感することが出来ました。また、座学で習った知識だけでなく、カルテからの情報収集がいかに大切か、処方された薬をただ単に調剤して終わりではなく、処方内容は適切か、副作用を含む体調変化、患者背景などの評価が薬剤師の業務として大切だということを学びました。将来薬剤師になった時に、先生方に教えていただいた知識や経験を生かしていきたいと思えます。11週という短い期間でご迷惑をおかけすることも多くありましたが、丁寧に指導していただきありがとうございました。お世話になりました。</p>
R6	加古川医療センター	<p>多忙な業務の中でも丁寧に指導いただき、たくさんの知識と経験を得ることができました。薬局実習では経験できないような抗がん剤調製や電子カルテからの患者情報の収集は良い経験となりました。薬剤管理指導では様々な患者さんに介入させていただき、病棟業務ならではの経験をさせていただきました。最初は緊張してうまく話せないことが多かったですが、薬剤師の先生方がフォローしてくださったため安心して指導業務を行うことが出来ました。また、放射線室や検査室、ドクターヘリの見学までさせていただき、他分野のことまで学ぶことが出来ました。11週間本当にありがとうございました。</p>
R6	がんセンター	<p>11週間大変お世話になりました。実習では患者さんや他の医療職の方々との距離が近く、病院ならではの空気を体感することができました。また患者さんとも深く関わることで、治療での問題点をどのように解決するか先生方と話し合うこともでき、とてもいい経験ができました。その場面に直面することで自己研鑽に励む、良い刺激にもなりました。私の将来の希望は病院薬剤師なので、今回の実習は自身のモチベーションを高める良い学びになりました。本当にありがとうございました。</p>
R6	がんセンター	<p>調剤や服薬指導のみならずチーム医療をはじめとするさまざまな病院内の業務に薬剤師が携わっていることを間近で学ぶことができた。また他部署見学にも多く行かせていただき貴重な経験となりました。毎日多種多様な薬を手に取り、病棟では様々な患者さんの服薬指導に行かせていただき、先生方には薬に関して臨床で扱う際どのようなことを考えるのか本当に多くのことを教えていただき来ました。今までがん領域に苦手意識がありましたが、実習を通して難しくてもおもしろい分野だなと思えるようになりました。11週間学ぶべきことがたくさんで本当にあつという間の期間でした。ありがとうございました。</p>

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	尼崎総合医療センター	<p>11週間という期間は実習が始まる前は長く感じたのですが、毎日違う内容の実習をさせて頂いたので充実した日々となりました。特に病棟に上がる機会が多く、様々な患者さんの疾患や治療について前もってカルテで調べ、その後病棟に上がることでより深く病態を理解し、患者さんへの指導に活かすことが出来ました。また、チーム医療では実際にラウンドやカンファレンスに参加し、医師や看護師、管理栄養士などと共に治療提案をしていることを学ぶことができ、良い経験となりました。注射剤の調剤は薬局にはなく、様々な薬剤を学ぶことが出来ました。特に抗がん剤はレジメンに沿っているため、調剤を通して前投薬や抗がん剤投与後の補液投与など治療の流れを実感することができました。実習終盤の院内見学では、作業療法士、管理栄養士、放射線技師、臨床検査技師、オペ看護師から直接案内して頂きどのような業務を行っているのかを学ぶことで病院がどのように協力し合っているのか知ることができました。</p>
R6	尼崎総合医療センター	<p>2ヶ月半という長い期間でしたが、その内容は非常に充実していて、あっという間に過ぎたように感じます。病院薬剤師が具体的にどのような仕事をしているのか、ほとんど知らないまま実習に参加しましたが、初めは本当に分からないことが多く、緊張の連続でした。しかし、先生方に様々なことを教えていただき、毎日新しい学びがありました。実習では、病棟に行く機会が豊富にあり、実際に患者様とお話しできたことは大変貴重な経験でした。また、いくつかの課題に取り組む中で、自分たちで考える時間が与えられ、病院薬剤師の業務について深く理解する良い機会となりました。チーム医療についても学び、薬剤師が医療チームの一員として活躍する姿を目の当たりにできたことも、大きな刺激となりました。薬剤師を目指す中で、病院での治療の流れや医療スタッフとの連携を知ることができたことは、将来必ず役立つと確信しています。これからどこに就職したとしても心のゆとりと正確な調剤の実施を行いたいと感じました。薬剤部の皆様には、実習中に多くのご迷惑をおかけしましたが、親切に指導していただき、心から感謝申し上げます。この経験を活かして、これからも一層努力していきたいと思えます。</p>
R6	淡路医療センター	<p>今回の病院実習を通して、様々な状態の患者さんと接する中でただ薬の説明をするのではなく、患者さんの表情や動きなどに着目しつつ、患者さんに応じて話のスピードを変えるなどして、どのようにしたら患者さんに指導内容を理解もらえるかを考えながら指導することの重要性を学びました。チーム医療では、様々なチームのカンファレンスやラウンドを見学することができ、薬剤師としてどのようなことに介入していけるのか、また介入するにあたってどんなことを知っておく必要があるのかを学ぶことが出来ました。毎週様々なことを学ぶことができ、大きく成長することができた実務実習となりました。薬剤師の先生及び医療スタッフの皆様、ご丁寧にご指導いただき本当にありがとうございました。</p>

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	淡路医療センター	<p>病院実習において、調剤をする時は検査値が分かり、特に腎機能を意識した調剤を行うことができ、患者の安全を守ることが大きな役割であると学ぶことができました。病棟業務では患者のベットサイドまで行き、薬の説明や生活指導はもちろんのこと、今まさに副作用が起こっていないかなどの確認をしながら会話を重ねることで、情報収集と副作用の判定ができることを体感することができました。</p> <p>また、他職種の業務も見学することができ、他の専門性を理解して、その経験を活かし薬の専門家としてどう患者のためになることができるのかを考える機会を得ることができました。この見学やラウンドを通して、チーム医療の重要性を再確認することができました。</p> <p>そして、見落としや失敗があった時、それを正してくれる先生方がおり、安心して実習に参加することができました。この実務実習を通して、薬剤師になるための基礎を作り上げることができました。11週間ご指導いただき、ありがとうございました。</p>
6	西宮病院	<p>11週間にわたる長期実務実習を受け入れてくださり、ありがとうございました。</p> <p>病院実習では、調剤業務、病棟業務、講義を通して、病院薬剤師の役割について学びました。薬局実習とは異なり、電子カルテを利用することで患者背景や病態をより詳しく知ることができ、調剤業務や病棟業務に役立てることができました。調剤業務では内服薬に加えて、注射薬や抗がん剤の調剤も経験することができました。また、疑義照会を行うことで、処方内容の問題点を解消し、最適な薬物治療へと導く薬剤師としての責任を実感しました。病棟業務では様々な疾患の患者さんに直接関わることで、電子カルテのみでは収集できなかった情報を得ることができ、対面で話す重要性を感じました。</p> <p>課題として与えられた8大疾患レポートでは、ガイドラインや適正使用ガイドなどの薬学的根拠を基に判断する必要性を学びました。また、他部署見学を通して多職種連携を実感し、臨床現場の実際を知ることができました。</p> <p>今回の実習を通して得た学びや経験を活かし、薬剤師として活躍できるよう、さらに自己研鑽に励んでいきます。薬剤部の先生方、スタッフの皆様には手厚いご指導をいただき、ありがとうございました。</p>

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
6	西宮病院	<p>11週間にわたる長期実務実習を受け入れ、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。病院実習では調剤・注射において電子カルテから患者さんの併用薬や検査値、カルテ記事などから処方の方当性や、病態と薬の繋がりを実感しました。また、他部署見学やASTカンファレンスの見学も経験させていただき、多職種とどのように連携して薬剤師が活躍しているかを学ぶことができました。</p> <p>病棟での服薬指導では自身がレジメンや手術で扱う薬についてよく知っておく必要があり、患者さんとのコミュニケーションを行う際には分かりやすい言葉で説明したり、副作用などの適切な情報の聞き取りを経験させていただきました。直接患者さんに関わることで説明や聞き取りの難しさを実感し、座学だけでは理解できないことを学ぶことができました。</p> <p>臨床現場で活躍されている薬剤師の方と同じ環境に身を置くことで、薬剤師の存在意義と仕事に対する責任感を実感しました。今後は学生として引き続き勉学に励み、薬剤師となった際には今回の経験を活かし、一人一人の患者さんに合わせた関わり方や処方提案を行い、よりよい医療に貢献できるよう努めていきたいと思えます。</p> <p>薬剤部の先生方にはお忙しい中手厚いご指導いただき、本当にありがとうございました。</p>
R6	丹波医療センター	<p>11週間充実した実習をさせていただき本当にありがとうございました。実習開始時は実習生1名だけであったので不安がありましたが、薬剤師や事務の方々に助けていただき実習を終えることができました。実習中の服薬指導は、入院患者さんへの言葉使いや質問内容などを考えるのがとても大変でしたが、薬剤師の先生に色々教えて頂いたりサポートして頂き指導をすることができました。実習の中で印象的だった事は、チーム医療（NSTやICT等）や検査部の見学でした。チーム医療では、医師や看護師、薬剤師、栄養士、心理士など様々な役職の人たちと意見交換する所が見ることができました。将来自分もこのように薬剤師同士だけでなく、他の医療従事者の方たちと話し合っていけるような薬剤師になりたいと強く感じました。検査部見学では一般検査や病理検査、超音波検査など様々な検査を知ることができました。特に印象的だった微生物検査では、医師や薬剤師も菌の特定に参加している事を知りました。病院実習を通して、調剤業務・注射業務・病棟業務を経験しました。病棟業務では患者さんの初回面談から退院指導までさせて頂きとても貴重な体験ができました。本当にありがとうございました。</p>

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	丹波医療センター	<p>11週間という長い期間、実務実習を受け入れていただき、ありがとうございました。今回の実習を通して病院における薬剤師の重要性について再認識することが出来ました。また薬剤師の業務のみならず、透析室、栄養課、放射線課、検査部、地域連携室など他職種の業務も見学させていただくことができ、どの業務についても欠けてはいけないものであると感じました。病棟業務で関わった症例では持参薬、患者背景等を踏まえた薬物療法の選択や用法用量の確認を行いました。薬剤師が介入することで薬物療法の質の向上に貢献できることから病棟業務が重要であると感じました。調剤業務は適応や用法用量の誤り等を確認する必要があり、患者さんに薬が渡る最後の段階であるため非常に責任が伴う業務であると感じ、難しさも実感することが出来ました。またチーム医療 (AST, ICT, PCT, NST) への参画も経験し、薬剤師が介入するためには薬学的な知識に限らず他の職種の学問も学ぶ必要があると感じました。同時にチーム医療の中で薬剤師の存在は大変重要なものであると学ぶことができました。薬剤師の先生方にはお忙しい中、常に気にかけてご指導していただき大変ありがとうございました。今後、この実習で学んだことを生かしていきながら、勉学に励んでいきたいと考えております。</p>
R6	はりま姫路総合医療センター	<p>実習では、やり方が分からないこと、疑問に思うことがたくさんあり、すぐに自分で調べて試みて、それでも解決しないというときや患者さんへの指導の際などでもどうしたら上手くいったか、次はどうしてみるとより良くなるかなどの悩みについてすぐに近くにいる薬剤師の先生に聞いてフィードバックをいただき改善点を把握することができました。自分にとって足りないものを自覚したり、出来ることが増えたりということを実感することができ、処方の見方や指導時の伝え方について自分の中の引き出しや考え方の選択肢を増やすことができました。</p>
R6	はりま姫路総合医療センター	<p>病院実習では薬局で体験することが出来なかった様々な体験・業務を行うことができ、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。TPN調製や抗がん剤調製などクリーンベンチや安全キャビネットで行う調製は、OSCEでの経験がありましたが実際に現場で行うことができ良かったです。輸液は病院ならではのと思うのでたくさん触れることが出来て良かったです。病棟業務などを通して患者さんと話す機会もありましたが、自分の知識の足りない点や苦手な分野をより把握することができたので今回病院実習で学んだこと、足りない点はしっかり見直し今後活かせることができるようにしたいです。</p>
R6	ひよろこの医療センター	<p>実習で患者さんとの関わりを通して、薬物治療が中心ではない患者さんに対しても安全に薬を減らす処方提案やお薬との上手な付き合い方を伝えるなど、薬剤師として出来ることは実習前に想像していたよりもたくさんあると感じることが出来ました。また、身体科に比べ数値など客観的指標が少ない精神科だからこそ、患者さんの様子から副作用が出ていないかや薬の服用で症状に変化があるかを考えること、患者さん本人や多職種の方とのコミュニケーションを通して患者さんの背景や想いを汲み取ることの重要性を実感することが出来ました。ここでの学びを今後の自分自身の成長に繋げていきたいと思っております。貴重な機会をいただきありがとうございました。</p>

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	ひよろごの 医療センター	実際に服薬指導をさせていただき、精神科疾患は身体科と比べ客観的な判断が難しいため、患者さんの訴えがなくても副作用はでていないかなど小さな変化を見逃さない観察眼を持つことが薬剤師に求められるのではないかと思います。また多職種カンファレンスなどを通して、理由が分からないからと勝手に決めつけるのではなく、時間をかけつつ様々な角度から物事を判断し、患者さんに寄り添った薬物治療を多職種の方々と連携しながら進めていく事の大切さを実感しました。この経験を糧に患者さんに寄り添うことができる薬剤師になれるように精進していきたいと考えております。この1週間、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
R6	ひよろごの 医療センター	講義を受けてから実際に病棟を見学、服薬指導を行うことで理解しやすい実習でした。病棟見学では普段実習している病院にはない閉鎖病棟を見学することができ印象に残りました。服薬指導では一方的に薬の説明、副作用の確認を行うのではなく日常会話を絡めて聞き取ることも大事だと感じました。患者さんがフラッシュバックの原因になることを聞かないために入院までの背景をしっかりと理解し患者さんと接することも必要だと感じました。一週間貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
R6	ひよろごの 医療センター	今回の実習では患者さんを多職種で支えられていることを実感しました。多職種カンファレンスの見学もさせて頂き、薬剤師として得られる情報だけではわからない、心理面やリハビリの状況、患者さんの背景などを知ることができ、多職種での連携の重要性を感じました。また、精神科では患者さんの症状の改善だけでなく、根本となる孤独や不安などの改善が必要であることを学びました。今回精神科の患者さんへの指導で学んだことは、身体科の患者さんにも通じることが多かったので、今後の服薬指導に役立てていきたいと思っております。身体科ではできない経験や学びを得ることができました。ありがとうございました。
R6	こども	11週間の病院実務実習はあっという間で、とても充実したものでした。こども病院では、大学の講義等ではあまり遭遇する機会がなかった小児特有の疾患や先天性疾患について学びました。薬局では高齢者への服薬指導が多かったのに対して、こども病院では比較的自分の年齢に近い患者の親御さんに服薬指導を行うことがほとんどであると知って、薬局とは異なる緊張感があり、少し不安でした。しかし、薬剤師の方々が服薬指導時の注意点やポイントを教えて下さったことで、大きな問題なく服薬指導を実践することができました。また、実習中に気になったことについて薬剤師の方々に訊くと、私ができるまで丁寧に説明してくださり、とても勉強になりました。短い間でしたが、ご指導いただきありがとうございました。

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	加古川医療センター	<p>11週間の病院実習を通して、内服薬や注射剤の調剤をはじめ、病棟業務や抗がん剤調製、持参薬鑑別など多くの病院薬剤師の業務を経験させていただきました。病院は薬局とは異なりカルテが閲覧できるため、患者背景や検査値の確認を行い、処方意図を理解し、薬の知識を深めることができました。薬剤管理指導では、カルテから患者情報を確認し、患者さんに合わせた指導を行うことが大切だと学びました。また、様々なカンファレンスに参加させていただき、チーム内の薬剤師の役割を学び、医療従事者間で情報共有する大切さを理解することができました。</p> <p>この病院実習で学んだことを活かして、将来薬剤師として活躍できるように今後も勉学に励みたいと思います。お忙しい中ご指導いただき、本当にありがとうございました。</p>
R6	加古川医療センター	<p>病院はカルテを見ることができると比べて薬局と比べて服薬指導の方向性を考えやすいことが印象に残りました。また、病院が薬局とも連携をとることで患者の治療のフォローに繋がっていることも印象に残りました。カンファレンスにも参加させていただく等、貴重な体験をさせていただきました。</p> <p>困ったときや分からないところを薬剤師の先生方や事務の方が丁寧に優しく教えて下さったおかげで病院実習前には無かった薬学的考え方や知識を得ることができました。薬剤師の先生方、事務の方、他部署の先生方にはお忙しい中大変お世話になりました。11週間、病院実習をさせていただきありがとうございました。</p>
R6	加古川医療センター	<p>カルテの情報から患者さんの状態について把握できることにより、状況に応じて医師に処方提案をすることや実際に患者さんのもとに話を聞きに行くことができる場所は、病院薬剤師ならではの職能であると感じました。この職能を発揮するためには、採用医薬品についての知識が必要であるとともに、持参薬で院内採用がない場合の代替薬について提案する場合などもあるため、薬剤や病態に関する多くの知識と今後の治療について考える考察力が必要であると感じました。また、実習発表会に向けて1人の症例患者に対して4回の指導を行いました。カルテを毎日みて、患者さんの状態や心境の変化などを確認し、副作用発現の懸念や薬剤の新規処方などがある場合に指導を行い、合間に世間話なども交えながらお話しさせていただきました。反省することの方が多かったですが、4回目の指導の時に「たくさんありがとうね」と患者さんからお言葉を受け、指導を行ってよかったと感じました。11週間で病院薬剤師の仕事・役割について学ぶことができ、貴重な経験となりました。ありがとうございました。</p>

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	加古川医療センター	調剤業務では、注射剤や輸液、抗がん剤など様々な医薬品について知識を深めることができ、良い経験ができたと感じています。チーム医療ではASTやNST、救急等のカンファレンスにも参加させていただき、薬剤師にどのような役割が求められているのか、他の医療従事者の方とどのように連携していくべきかを学ぶことができ、病院薬剤師でしか味わえない楽しさを実感することができました。他にも臨床検査室や放射線科、ドクターヘリを見学させていただき、有意義な11週間を過ごすことができました。お忙しい中、優しく丁寧に指導して下さった薬剤師の先生方には本当に感謝しています。加古川医療センターで実習ができて良かったです。11週間ありがとうございました。
R6	加古川医療センター	この度は、お忙しいなか長い期間実習させていただき大変ありがとうございました。実習期間では、様々なカンファレンスに参加させていただいたことでチーム医療における薬剤師としての重要性を知ることが出来ました。また、災害時医療では限られた医薬品での調剤や救急医療では早急な患者対応など薬剤師の責任感と判断が求められることを学びました。この実習を通して、専門分野に対してのスキルを磨き患者さんにとって求められる薬剤師になりたいという気持ちが今までよりも深まりました。この気持ちをしっかりと持ち、薬剤師国家試験に向けて頑張ります。 ご指導くださいました薬剤師の先生方、心より感謝申し上げます。また、事務員の方々、加古川医療センターのスタッフの皆様11週間ありがとうございました。
R6	西宮病院	この度は、お忙しい中実務実習をさせていただきありがとうございました。 薬局とは違って、電子カルテや検査値など患者背景を知ることができるので、処方内容が患者さんにあっているか考えて調剤することができました。疑問に思った処方、カルテなど確認したうえで薬剤師の先生にサポートしていただきながら、疑義照会を経験させていただきました。また、さまざまな病棟で服薬指導を行い、指導していく中で話す速さや声のトーンを工夫し、資料を用いながら患者さんに応じた対応の仕方を心掛ける大切さを学ぶことができました。 周産期医療や災害医療、TDMなど様々な講義を設定していただき、大学で得た知識に加えてより深く理解することができました。特に災害医療の講義では、実際に被災地に行かれた先生から当時の話を聞かせていただき、災害時に必要とされる薬や薬剤師の役割について学ぶことができました。放射線科、オペ室、検査部など他部署の見学もさせていただき、改めてチーム医療の重要性を実感することができました。 実務実習では、11週間という長期にわたり、大学では学ぶことができないような貴重な経験をたくさんさせていただきました。今後は実習で得た知識をより深めることができるよう勉学に励み、成長できるよう努力します。最後になりましたが薬剤師の先生方、お忙しい中丁寧にご指導いただきありがとうございました。

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	西宮病院	<p>この度は、11週間という長期にわたり、ご指導いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>調剤薬局と異なり、電子カルテを見ることができるため、隅々までしっかり確認した上で、調剤を行うことを意識しました。実際に、Ccrが分からない患者さんの場合は自分で計算し、カルテ記事や指示簿、服用カレンダーだけでなく、スキャン取り込み文書や経過表まできちんと確認した上で、処方適切であるかを判断する力が身に付きました。</p> <p>服薬指導では、薬に直結する奏効状態や副作用だけでなく、食事や排泄状況なども聞き取ることで、薬剤によるアプローチが必要かどうか判断することも、薬剤師の大切な仕事であることを実感できました。また、幅広い年齢層の方が入院しており、調剤薬局では経験できなかった年齢層への服薬指導も行うことができました。さらに、薬剤部内に留まらず、手術室や放射線科へ見学にも行かせていただき、チーム医療を肌で感じることができました。カンファレンスにも参加させていただき、自分自身の知識不足を実感したとともに、臨床現場ではより専門的な知識が必要となることを痛感しました。</p> <p>実際に指導薬剤師の先生方が活躍される様子を間近で見、薬剤師になりたいという思いがより一層強くなりました。この思いを糧に今後の勉学に励んでいきたいです。</p> <p>お忙しい中、丁寧かつ分かりやすいご指導をありがとうございました。</p>
R6	淡路医療センター	<p>病院実習を通して、医師や看護師、栄養士、臨床検査技師など様々な方々からお話を聞くことができ、他職種と連携しながら働ける、薬局とは違った病院薬剤師の仕事の良さを知ることができました。もともと興味があった抗がん剤を使用している患者さんの指導を経験させていただき、普通薬とは異なる抗がん剤の作用や、注意しなければいけない副作用、治療を受ける患者さんの不安について学ぶことができました。学校で学んだことが実際の現場でどう使われ、活かされているのか、多くの業務を見学しながら知ることができ、とても良い経験ができたと思います。薬剤師の先生方が丁寧に指導してくださり、毎日全力で実習に臨むことができました。</p>
R6	がんセンター	<p>実習の最初の方からASTやNSTなどのチーム医療に、中盤からは病棟業務など病院ならではの仕事に触れることで、病院薬剤師の仕事やその役割を学ぶことができました。</p> <p>また薬局とは異なり、同じ施設で働いていることから医療者間の距離が近く、些細な疑問でもすぐに医師や看護師に確認できるというのは印象的でした。病棟業務では、担当する病棟以外を見学する機会を頂き、診療科によって治療法やレジメンに大きな違いがあることを学びました。</p> <p>11週間とい短い間でしたが、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。</p>

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	がんセンター	<p>11週間という短い間でしたが、大変お世話になりました。抗がん剤のミキシングの見学をしたり、調製を実際に体験する機会というのはあまりないので、とても貴重な経験となりました。また、がんの部位、術前療法なのか術後療法なのかによってレジメンや抗がん剤の投与量が大きく異なるということを学びました。ASTやPCT、NSTといったカンファレンスにも多く参加させていただいたことで、病院でのチーム医療やその中における薬剤師の役割について知ることができました。薬剤部の先生方、お忙しい中ご指導してくださり本当にありがとうございました。</p>
R6	はりま姫路総合医療センター	<p>病院実習では薬局実習とは違い、機械化が進んでいることにまず驚きを感じました。その中で、これからの薬剤師に求められる業務を学ぶことが出来ました。調剤業務では初めて見る注射剤を調剤し、全く知識がない所から始まったので、何度も何度も薬剤師の先生に聞き実習が始まった頃に比べ自分の中でも成長を感じています。病棟業務では、急性期病院ならではの重たい患者の処方指導内容を考えたり、カルテを見る中で何が大切なことかを判断する能力を学ぶことが出来たと思っています。将来は病院で働きたいと思えたほどに充実した実習期間を経験させていただけたこと、本当に感謝しています。これからの学生生活では実際の臨床現場で学んだ内容を活かした勉強をしていきたいです。11週間ありがとうございました。</p>
R6	はりま姫路総合医療センター	<p>病院実習では、調剤や服薬指導だけでなく、持参薬鑑別や抗がん剤・院内製剤の調製なども体験させていただきました。これらのことを通して、病院薬剤師と薬局薬剤師の違いを学ぶことができました。また、他部署への見学やチーム医療への参加もさせていただき、病院における薬剤師の役割を知ることができました。病棟業務では、服薬指導の際に大切にすべきこと、どのようにして患者さんに薬のことを伝えるのかなどを教えてくださいました。11週間を通して、病院薬剤師の業務だけでなく、存在意義や働く方たちの思いなども知ることができ、本当に充実した実習となりました。お忙しい中、様々なことを教えていただいた先生方には感謝とお礼を申し上げます。この実習で学んだ経験を活かせるように今後も頑張っていきたいと思えます。本当にありがとうございました。</p>
R6	尼崎総合医療センター	<p>実習に来る前は大きな病院なのでどのような業務を行っているのか全く想像が付きませんでした。実習に来たからは調剤、病棟業務、チーム医療、抗がん剤のミキシングなどさまざまな業務に関わらせていただくことができました。最初は調剤する時も病院のルールが分かっておらず失敗することも多くありましたが薬剤師の先生方が優しく親身になって指導してくださったおかげで間違えずにできるようになりました。病棟業務についても患者さんと直接かかわる機会がたくさんあり、薬剤師の対人業務の重要性を理解することができました。院内見学や治験コーディネーターの方のお話を聞く機会もあり貴重な体験ができました。また、病院実習では、他職種の方と関わるなかで薬剤師の役割についてより深く理解することができました。この他にも実習を通して多くのことを学んだのでその経験を活かしてこれからも成長し続けたいと思えます。ありがとうございました。</p>

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R6	尼崎総合医療センター	<p>病院実習では、薬局実習では学べないチーム医療や抗癌剤のミキシングなど、他にも多くのことを学ばせていただきました。約2カ月半という短い期間で、2カ月半より長いのではないかなと思うほどかなり充実した実習生活を送ることができました。病院薬剤師と薬局薬剤師で迷ったまま実習期間を迎えることになりましたが、この尼崎総合医療センターでの実習を受け、病院薬剤師のやりがいや、働くうえで多くのことを学べるのではないかと感じ、病院薬剤師という仕事に憧れを抱きました。実際に働く先生方を見て、このようになれるのかという不安はかなり大きいですが、病院薬剤師を目指して実習後は勉強に励もうという気持ちになりました。すべての先生方と関わることはできませんでしたが、関わらせていただいた先生方にはとても優しくご指導いただき本当に感謝しております。今回実習で学んだことは、国家試験の勉強や、就職後も活かして頑張ろうと思います。たくさんのご指導ありがとうございました。</p>
R6	ひょうごの医療センター	<p>精神科医療分野の薬物療法や、法律などについて講義していただきました。初めて聞く言葉や薬品名ばかりで、学ぶことがとても多かったです。患者さんによって症状・背景も異なり病状の把握も難しい精神分野だからこそ、薬物の血中濃度の管理が重要となったりと薬剤師の役割について理解することができました。特に児童思春期病棟では、病室を尋ねるとぱっと明るい表情をされる印象があり、患者さんとの接し方についても勉強させていただきました。1週間貴重な経験をさせていただきありがとうございました。</p>
R6	ひょうごの医療センター	<p>精神領域の薬物治療について講義を受けてから病棟見学があったため、理解が深まりやすい環境でした。元々精神領域の薬剤について、作用機序が難しいことや病気に関してもイメージがあまりついていないこともあり勉強が難しいと感じていました。この実習を経て薬剤の知識はもちろんの事、精神疾患についても知識を得ることが出来ました。また、精神科が身近なものだと感じることができ、勉強としても経験としてもとてもたくさんのことを得ることができた1週間でした。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。</p>